

I T C－2 4 3 2－0 3 5 C Tの後継機について

L C Dの変更に伴い、主に外形と光学特性が変更になります。

下記に現在わかっている範囲で後継機の互換及び変更項目を示します。

後継機の品名は、I T C－2 4 3 2－0 3 5 M Tが3 2 0×2 4 0 d o tで、

I T C－2 4 3 2－0 3 5 M V Tが2 4 0×3 2 0 d o t になります。

1. 互換項目

- a) 描画コマンド及びタッチパネルコマンド
- b) インターフェース及びピンアサイン及びコネクタ
- c) 表示エリア中心に対する取り付け穴位置
- d) 表示色数

2. 変更される項目

— 1. L C D：前記がI T C－2 4 3 2－0 3 5 C Tで後記が後継機になります。

- a) 縦型（T N型）から横型（I P S型）になります。
- b) アクティブエリア及びケースオープニング：参考外形図参照
- c) 画素構成

(2 4 0 × R. G. B) (W) × 3 2 0 (H)

↓

(3 2 0 × R. G. B) (W) × 2 4 0 (H)

- d) 画素ピッチ

0. 2 2 3 5 m m (W) × 0. 2 2 3 5 m m (H)

↓

0. 2 1 9 m m (W) × 0. 2 1 9 m m (H)

- e) 表示モード ノーマリーホワイト → ノーマリーブラック
- f) コントラスト 4 0 0 : 1 (T Y P.) → 8 0 0 : 1 (T Y P.)
- g) 視角方向 6 時 → 全方向
- h) 白色輝度

約 4 0 0 c d / m² (輝度 m a x. T Y P.)

↓

約 3 5 0 c d / m² (輝度 m a x. T Y P.)

- i) 色度：若干の違いがあります

ー 2. 画像メモリー及び画像ファイル

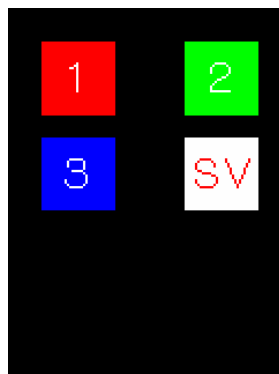
VRAM容量は8画面と同様ですが、画像記憶用が変更になります。

CFカードを廃止して、USBメモリー内のファイルを制御基板内のフラッシュメモリにコピーしての使用で検討中です。

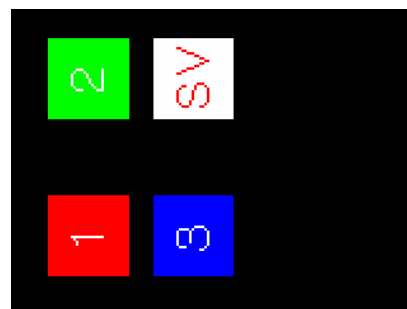
画像ファイルは同様の xxx.BIN になります。

画像ファイルの最大記憶容量は、64個を検討しています。

また、240×320dot 画像ファイルの場合、270° 回転して 320×240dot の画像を bin ファイルに変換して使用してください。



240×320dot



270° 回転 : 320×240dot

画像データは、320×240dot のみの対応となります。

ー 3. 外形寸法は参考外形図参照

ー 4. 電源

DC+5V ±5% : 約200mA → DC+5V ±5% : 約300mA

ー 5. 制御基板のコネクター位置 (LCDのFPC位置が違うため)

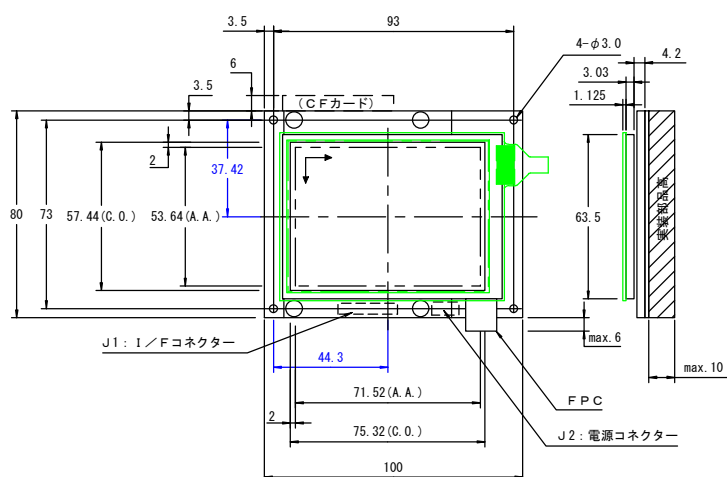
ー 6. タッチパネル

外形及びアクティブエリア、ビューイングエリアの変更 (参考外形図参照)

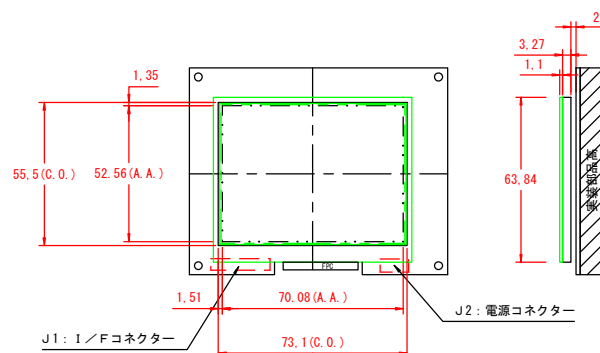
LCDのケースオープニングよりタッチパネルのビューイングエリアが狭いので、筐体の表示面窓枠設計の際ご注意ください。

タッチパネル付き参考外形寸法図

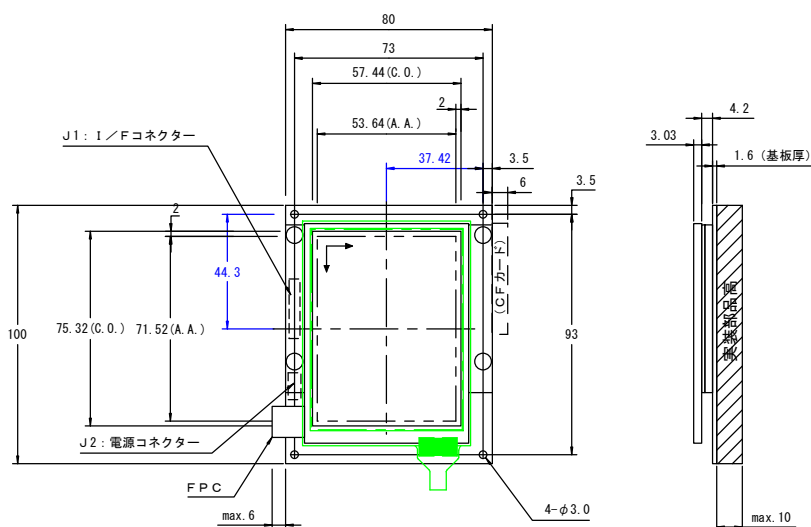
ITC-2432-035CT (320×240dot : S Vコマンド実行時)



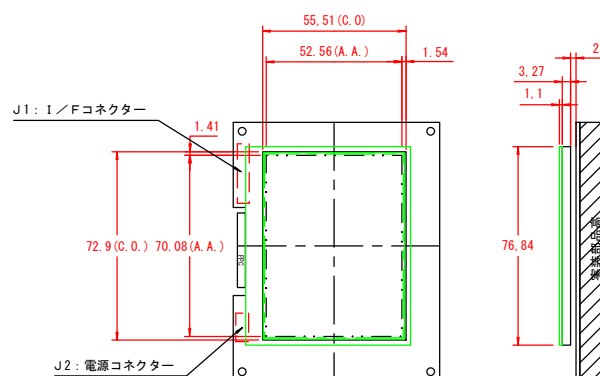
後継器 : ITC-2432-035MT (320×240dot)



ITC-2432-035CT (240×320dot)



後継器 : ITC-2432-035MVT (240×320dot)



タッチパネル寸法
外形 : 65 × 87
アクティブエリア : 58.38 × 77.58
ビューイングエリア : 59.18 × 78.38

タッチパネル寸法
外形 : 63.8 × 76.8
アクティブエリア : 53.6 × 71.1
ビューイングエリア : 54.6 × 72.1

- * A. A. はActive Areaの略です。
- * C. O. はCase Openingの略です。
- * 図面上の中心はA. Aの中心です。
- * モジュール全体の中心ではありません。
- * 公差は青字が±0.75mm、その他は±0.5mmです。
- * この図面はハーネス等は省略します。
- * 寸法単位はmmです。
- * 後継機は変更される寸法のみ示します。(赤字)
- * 緑線は、タッチパネルになります。